

2023年度環境経営レポート

(2023.9月～2024.8月)



ism

2024年12月16日作成

作成責任者: 管理部 永廣 葉子

目次

1. 組織の概要	・・・	1
2. 対象範囲、レポートの対象期間および発行日	・・・	1
3. 環境経営方針	・・・	2
4. 環境経営目標	・・・	3
5. 環境経営計画	・・・	4
6. 環境経営目標の達成状況および環境経営計画の実施状況	・・・	5
7. 実施体制	・・・	6
8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容		
8.1 取組状況	・・・	7
8.2 取組状況	・・・	8
8.3 取組状況	・・・	9
8.4 取組状況	・・・	10
8.5 取組結果の推移	・・・	11
8.6 まとめ	・・・	12
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	・・・	13
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	・・・	14

1 組織の概要

事業者名及び代表者名

株式会社イズム
代表取締役 飛田 秀幸

所在地

〒270-2214 千葉県松戸市松飛台241-1

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）

責任者 永廣 葉子
連絡先 電話番号 047-389-2621
FAX 047-389-2664
E-mail youko.nagahiro@ism-ss.co.jp

事業内容

ポップコーンマシン等食品加工機械の製作・販売
及びメンテナンス

事業の規模

従業員 22 人（パート含む）

敷地面積 997㎡

事業年度

9月～8月

沿革

1994（平6）年2月 創業

1998（平10）年11月業務拡張により船橋市に
有限会社 イズムを設立

1999（平11）年5月 本社を松戸市に移転

2004（平16）年5月 有限会社から株式会社へ改組

2009（平21）年11月 本社を現住所に移転

2 対象範囲

認証・登録番号 0008342

認証登録年月日 2012年5月30日

認証登録事業者名 株式会社イズム

認証・登録範囲 本社・工場

所在地 千葉県松戸市松飛台241-1

事業活動 ポップコーンマシン等食品加工機械の製作・販売及び
メンテナンス

レポートの対象期間 2023年9月～2024年8月（事業年度にあわせる）

レポート発行日 2024年12月16日

3 環境経営方針

環境理念

地球環境の保全を重要課題のひとつと位置付け次世代への貢献的な継承を実現していくために、ismは、環境マネジメントを構築し、全ての企業活動を通じて地球環境の保全に積極的に寄与することを目標とし、全社員の継続的な行動によって達成していくように努めます。

行動指針

1. 環境関連法規制を遵守します。
2. 環境目標を定め、定期的に見直し、継続的改善に努めます。
3. 当社は、次の環境活動を計画的に取組み実施します。
 - ☆ 電気使用量及び運搬・輸送の燃料使用量・石油液化ガスを減し、CO₂の排出量を削減します。
 - ☆ 事業活動に伴う廃棄に関して、分別を積極的に実施することによりリサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
 - ☆ 水の使用量を削減します。
 - ☆ 環境に配慮した製品の開発に努めます。
 - ☆ グリーン購入を推進します。

2012年9月1日 改訂

株式会社 イズム

代表者 飛田 秀幸

4 環境経営目標

2023年度から2026年度までの目標を下記の通り設定し、2014年9月より環境活動に取り組んでいます。

取組項目	2022年	単位	2023年	2024年	2025年	2026年
	(基準)		(目標)	(対前年比) (目標)	(対前年比) (目標)	(対前年比) (目標)
電力消費量の削減 (単位：kWh)	46,140.0	% 消費量	-1.0% 45678.6	-1.0%	-1.0%	-1.0%
ガソリン消費量の削減 (単位：L)	2,144.29	% 消費量	-1.0% 2122.8	-1.0%	-1.0%	-1.0%
軽油消費量の削減 (単位：L)	2,638.80	% 消費量	-1.0% 2612.4	-1.0%	-1.0%	-1.0%
灯油消費量の削減 (単位：L)	1,374.8	% 消費量	-1.0% 1237.3	-1.0%	-1.0%	-1.0%
液化石油ガスの削減 (単位：kg)	555.17	% 消費量	-1.0% 549.6	-1.0%	-1.0%	-1.0%
合計CO2排出量の削減 (単位：kg-CO2)	37,881.3	%	-1.0% 37502.5	-1.0%	-1.0%	-1.0%
分別及びリサイクルの 推進 (単位：t)	3.70	% (t/年)	-1.0% 3.66	-1.0%	-1.0%	-1.0%
事業所利用水の節水 (単位：m ³)	234.50	% (m ³ /年)	-1.0% 232.16	-1.0%	-1.0%	-1.0%
製品の省エネ化、小型 化	清掃用洗剤見直しにより水 使用量5%削減		清掃用洗剤見直しにより水使用 量7%削減	清掃用洗剤見直しにより水使用 量10%削減	清掃専用機器開発により水使用 量5%削減	清掃専用機器開発により水使用 量5%削減
グリーン購入の推進	事務用品等の 80%		事務用品等の 80%	事務用品等の 80%	事務用品等の 80%	事務用品等の 80%

※電気事業者ごとの調整後排出係数R4年度実績 0.376kg-CO2/kwhを使用

- ・廃棄物排出量は、一般廃棄物及び産業廃棄物に対するの総排出量で管理する。
- ・水使用量については、事務所、工場における水使用量の削減について実施する。
- ・特定化学物質については、社内での使用量が少量のため、削減目標の策定を行わない。
- ・上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上ために5S活動（整理、整頓、清掃、清潔、躰）に取り組む。

環境経営計画書（2023年9月～2024年8月）

承認	作成
飛田	永廣
作成2023/9/1	

方針	取組項目	活動計画の内容	日程	責任部門
電気使用量及び運搬・輸送の燃料使用量・石油液化ガスを減し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力消費量の削減 (kWh)	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理 (夏季28℃±1 冬21℃±1℃) ④ エアコン等フィルター清掃 ⑤ ストープの導入 (事務所) によるエアコン稼働調整	毎月	管理部 永廣
	ガソリン消費量の削減 (単位:L)	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ② 暖機運転・アイドリングストップ ③ 車両調整	毎月	技術部 内田
	軽油消費量の削減 (単位:L)			
	灯油消費量の削減 (単位:L)	① ストープの温度管理 (冬季20℃±1℃) ② 作業用ストーブの使用管理	毎月	管理部 永廣
	液化石油ガスの削減 (単位:kg)	① コンロ火力調節 ② 作業用ストーブとの併用	毎月	
廃棄物に関して、分別を積極的に実施することによりリサイクルを推進し、排出量を削減します。	分別及びリサイクルの推進 (単位:t)	① 使用済みコピー用紙を再利用する。無駄な資機材を購入しない。 ② 発生する廃棄物をルールに準じ適正に分別する。	毎月	管理部 永廣
水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位:m ³)	① 水洗トイレの水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はせず、こまめに止める。	2ヶ月ごと (奇数月)	管理部 永廣
環境に配慮した製品の開発に努めます。	製品の省エネ化、小型化	① 研究、開発 ② 製作 ③ 試行	3ヶ月毎 (11・2・5・8月)	設計部 大川
グリーン購入の推進に努めます。	グリーン購入	① 環境ラベル表示周知 ② 備品購入記録による管理	毎月	管理部 永廣

5 2023年度環境活動計画・実施・評価表

計画作成日:2023年9月1日

<達成状況の評価> 達成率/ 0%以下...○(達成) 1~15%未満...△(おおむね達成) 15%以上...×(未達成)

実施作成日:2024年9月1日

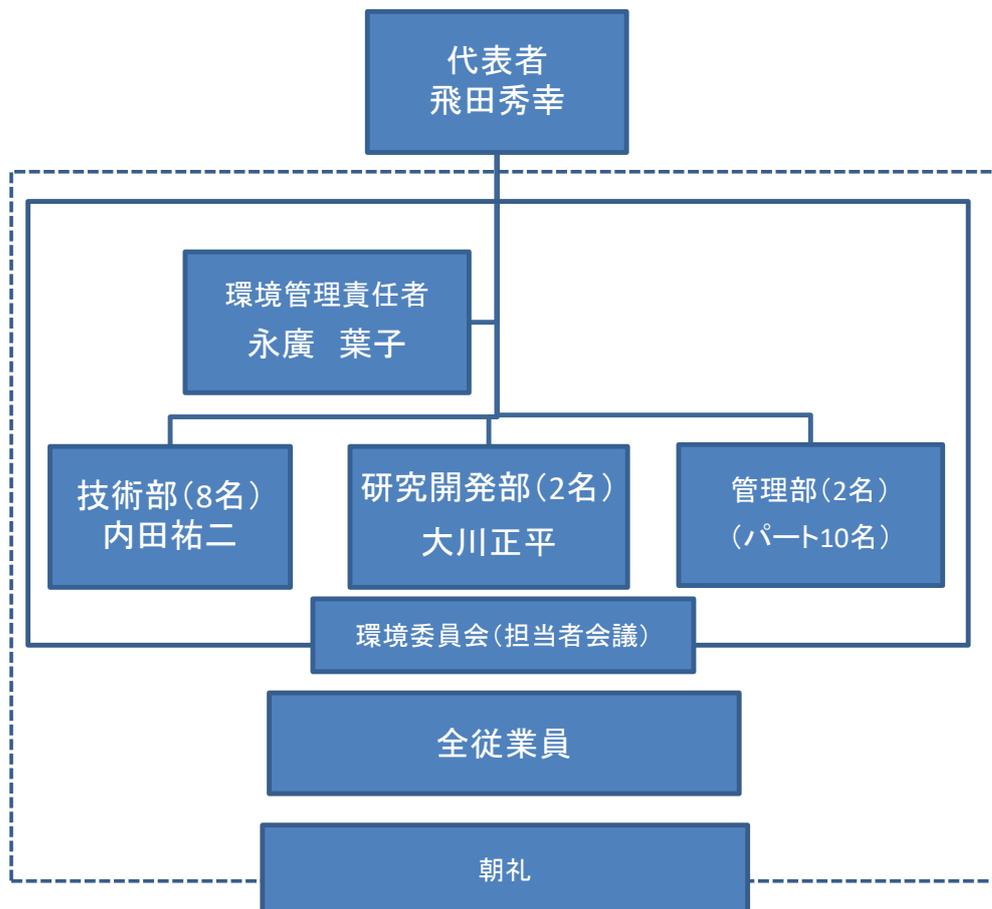
作成
承認
永廣 永廣

方針	取組項目	2023年度目標	目標達成手段	実施事項	スケジュール(月)														達成状況	責任部門 責任者		
					9	10	11	小計	12	1	2	小計	3	4	5	小計	6	7			8	小計
電気使用量及び運搬・輸送の燃料使用量・石油液化ガスを減し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力消費量の削減(kw)	2022年比1%削減する。	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理(夏季28°C±1°C冬季20°C±1°C)	計画	4715	3268	3301	11284	3714	3707	4432	11853	2749	2854	2328	7932	2778	5178	6654	14609	45678.6	管理部 永廣
				kg-CO ₂	1773.0	1228.8	1241.0	4242.8	1396.6	1393.7	1666.5	4456.8	1033.7	1073.2	875.5	2982.4	1044.5	1946.8	2501.8	5493.1	17175.2	
				実績	6933	2899	2851	12683	3499	3064	4150	10713	5606	3727	2489	11822	3386	5148	7557	16091	51309.0	
				kg-CO ₂	2606.8	1090.0	1072.0	4768.8	1315.6	1152.1	1560.4	4028	2107.9	1401.4	935.9	4445	1273.1	1935.6	2841.4	6050	19292.2	
	達成状況	△			12.40%	○			-9.62%	×			49.04%	△			10.14%	5630				
	ガソリン消費量の削減(単位:L)	2022年比1%削減する。	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ② 暖機運転・アイドリングストップ ③ 車両調整	計画	196.36	126.29	107.92	430.57	249.95	129.30	203.68	582.93	141.36	175.88	157.39	474.64	180.38	217.38	236.95	634.71	2122.85	技術部 内田
				kg-CO ₂	449.90	289.37	247.27	986.54	572.68	296.27	466.69	1335.64	323.89	402.99	360.62	1087.50	413.29	498.08	542.90	1454.27	4863.95	
				実績	140.08	191.08	59.33	390.49	150.02	180.37	75.56	405.95	23.35	78.05	76.76	178.16	109.91	118.04	36.56	264.51	1239.11	
				kg-CO ₂	320.96	437.81	135.94	894.71	343.73	413.27	173.13	930.13	53.50	178.83	175.88	408.21	251.83	270.46	83.77	606.06	2839.10	
	達成状況	○			-9.31%	○			-30.36%	○			-62.46%	○			-58.33%	-884				
	軽油消費量の削減(単位:L)	2022年比1%削減する。	① ストープの温度管理(冬季20°C±1°C) ② 作業用ストーブの使用管理	計画	262.84	182.15	230.18	675.16	193.02	225.70	188.10	606.82	192.56	282.56	148.54	623.65	268.86	191.58	246.33	706.78	2612.4	管理部 永廣
				kg-CO ₂	688.15	476.91	602.64	1767.7	505.37	590.93	492.48	1588.78	504.15	739.79	388.91	1632.84	703.94	501.61	644.95	1850.49	6839.8	
実績				180.24	250.60	264.70	695.54	222.75	85.62	217.05	525.42	162.43	246.51	262.60	671.54	182.25	232.98	272.13	687.36	2579.86		
kg-CO ₂				471.90	656.12	693.04	1821.06	583.20	224.17	568.28	1375.65	425.27	645.41	687.54	1758.23	477.17	609.99	712.49	1799.65	6754.59		
達成状況	△			3.02%	○			-13.41%	△			7.68%	○			-2.75%	-33					
灯油消費量の削減(単位:L)	2022年比1%削減する。	① ストープの温度管理(冬季20°C±1°C) ② 作業用ストーブの使用管理	計画	71	0	135	/	139	561	384	1290	0	0	71	/	0	0	0	71	1361.1	管理部 永廣	
			kg-CO ₂	178.2	0.0	336.6		346.5	1403.5	959.9	3225	0.0	0.0	178.2		0.0	0.0	0.0	178	3403.0		
			実績	90	0	140		319	317.6	195.0	1062	0.0	89.2	0.0		0.0	72.0	0.0	161	1222.8		
			kg-CO ₂	225.02	0.0	350.0		797.6	794.1	487.5	2654	0.0	223.0	0.0		0.0	180.0	0.0	403	3057.3		
達成状況	○			-17.69%	×			126.15%				-138										
液化石油ガスの削減(単位:kg)	2022年比1%削減する。	① コンロ火力調節 ② 作業用ストーブとの併用	計画	27.46	35.45	46.73	109.64	66.61	54.31	60.46	181.38	70.08	44.06	37.50	151.64	49.59	35.45	21.93	106.97	549.6	管理部 永廣	
			kg-CO ₂	82.14	106.04	139.76	327.94	199.22	162.44	180.83	542.50	209.61	131.77	112.16	453.55	148.32	106.04	65.59	319.94	1643.9		
			実績	25.88	20.70	40.57	87.15	59.00	37.88	62.72	159.60	49.27	52.785	43.68	145.73	44.30	34.78	28.15	107.22	499.70		
			kg-CO ₂	77.39	61.91	121.35	260.65	176.45	113.30	187.60	477.35	147.37	157.88	130.64	435.88	132.49	104.01	84.20	320.70	1494.6		
達成状況	○			-20.52%	○			-12.01%	○			-3.89%	△			0.24%	-50					
二酸化炭素排出量の削減	2022年比1%削減する。	kg-CO ₂	計画	3171.4	2101.1	2567.4	7839.8	3020.4	3846.8	3766.4	10633.6	2071.4	2347.7	1915.4	6334.5	2310.1	3052.5	3755.3	9117.9	33925.8	管理部 永廣	
			実績	3702.1	2245.9	2372.3	8320.3	3216.6	2696.9	2977.0	8890.4	2734.0	2606.5	1929.9	7270.4	2134.6	3100.1	3721.9	8956.6	33437.8		
			530.7	144.8	-195.0	480.5	196.1	-1149.9	-789.5	-1743.2	662.6	258.8	14.5	935.9	-175.4	47.6	-33.4	-161.2	-488.0			
			達成状況	○			-72.28%	×			-28.79%											
事業活動に伴う廃棄に関して、分別を積極的に実施することによりリサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進(単位:t)	① 使用済みコピー用紙を再利用する。無駄な資機材を購入しない。 ② 発生する廃棄物をルールに準じ適正に分別する。	計画	0.151	0.358	0.104	/	0.937	0.639	0.419	2.608	0.161	0.096	0.109	/	0.452	0.113	0.125	1.056	3.66	管理部 永廣	
			実績	0.1486	0.0995	0.111		0.143	0.0889	0.1316	0.723	0.113	0.140	0.1337		0.1054	0.1248	0.134	0.752	1.47		
			達成状況	○				-72.28%	×			-28.79%										
			530.7	144.8	-195.0	480.5		196.1	-1149.9	-789.5	-1743.2	662.6	258.8	14.5		935.9	-175.4	47.6	-33.4	-161.2		-488.0
水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水(単位:m)	① 水洗トイレの水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗いはしない。 ③ 節水コマの使用	計画	16.83	20.79	20.79	58.41	19.31	19.31	20.30	58.91	20.30	17.33	17.33	54.95	21.29	21.29	17.33	59.90	232.16	管理部 永廣	
			実績	17.50	17.00	17.00	51.50	18.00	18.00	17.50	53.50	17.50	17.50	17.50	52.50	18.50	18.50	18.50	55.50	213.00		
			達成状況	○			-11.83%	○			-9.18%	○			-4.45%	○			-7.34%	-19.16		
			530.7	144.8	-195.0	480.5	196.1	-1149.9	-789.5	-1743.2	662.6	258.8	14.5	935.9	-175.4	47.6	-33.4	-161.2	-488.0			
環境に配慮した製品の開発に努めます。	製品および使用部品の省エネ化	① 研究、開発 ② 製作 ③ 試行	計画	清掃用洗剤見直しにより水使用量 7%削減														未達成	設計部 大川			
			実績	水の適正量見直しにより2%削減				水の適正量見直しにより2%削減				繁忙期のため2025年8月まで取り組み延期						達成率 57%				
			達成状況	○				○				×						×				
			530.7	144.8	-195.0	480.5	196.1	-1149.9	-789.5	-1743.2	662.6	258.8	14.5	935.9	-175.4	47.6	-33.4	-161.2		-488.0		
グリーン購入の推進	グリーン購入	事務用品等購入品の80%	① 環境ラベル表示周知 ② 記録・管理	計画	事務用品全体の80%														達成率: %	管理部 永廣		
				実績	3/3	5/5	6/6	100%	17/18	26/31	3/3	88%	31/37	13/16	23/29	82%	0/0	8/8	6/6		100%	87%

◆特定化学物質については、社内での使用量が少量のため、削減目標の策定を行わない。

実施体制

承認	作成
飛田	永廣
作成2023年9月1日	



役職名	役割
代表者	・環境経営方針の制定、全従業員への周知
	・環境経営システムに必要な資源の準備
	・環境経営目標の設定の承認
	・環境経営システムの評価と見直し
	・環境管理責任者の任命
	・実施体制を構築し、各自の役割・責任・権限を定め、従業員全体へ周知
	・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、報告
	・環境および取組のチェック
	・環境経営目標の設定
	・従業員に対する教育、訓練の実施
	・環境経営レポートの承認
	・EA21関連文書の作成、保管、伝達
	・環境経営レポートの作成
技術部 管理部 研究開発部	・自部門における環境システムの推進
	・効果的な業務の遂行の創意工夫
	・環境に配慮した製品の開発
環境委員会 各部担当者 (内田、大川、永廣)	・環境管理システムの確立、実施、維持、改善に必要な意見を述べる
	・3ヶ月に一度(朝礼前)に会合し、環境管理システムの運用状況を検討
	・各年度末に事務局が作成する次年度目標・環境活動計画を審議し、代表者へ提出
全従業員	・自主的、積極的に環境活動に参加

<改訂記録>

改訂日	改訂内容・改訂理由
2012/4/1	部、課編成変更による。
2013/4/1	環境委員会(担当国会議)、朝礼を実施体制の一部として位置付ける
2015/9/1	管理部社員増員による担当者変更
2018/9/1	代表者の役割を追加
2019/9/1	管理部社員増員による担当者変更
2022/5/9	環境管理責任者の役割を追加

8 環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

8.1 取組状況

【間引きによる節電】



【定期的なエアコンフィルターの清掃】

- ・工場用大型エアコン、事務所内のエアコンのフィルター清掃の定期実施。



8 環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

8.2 取組状況

- ・ 扇風機との併用で、設定温度を守ることができた。



【間伐材による木のうちわ製作】

- ・ 間伐材利用の木のうちわを制作した。



8 環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

8.3 取組状況

【節水呼びかけ掲示】

- ・水道周辺に掲示を行った。

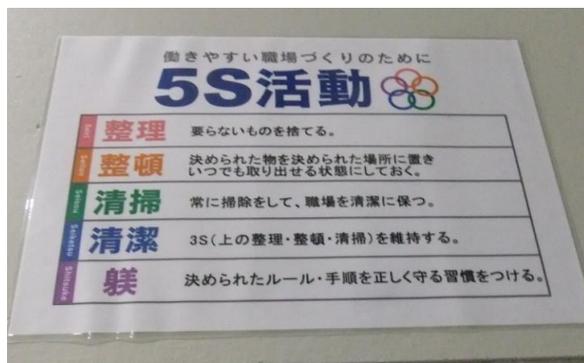


【環境負荷の実績表示】

- ・燃費、環境負荷実績を掲示し、取組強化を呼びかけた。

【5S活動の実施】

- ・5S活動がもたらす取組に対する意識向上に努めた。



8 環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

8.4 取組状況

【環境に関する事業所の登録】



- ・CO2CO2スマート宣言事業所登録

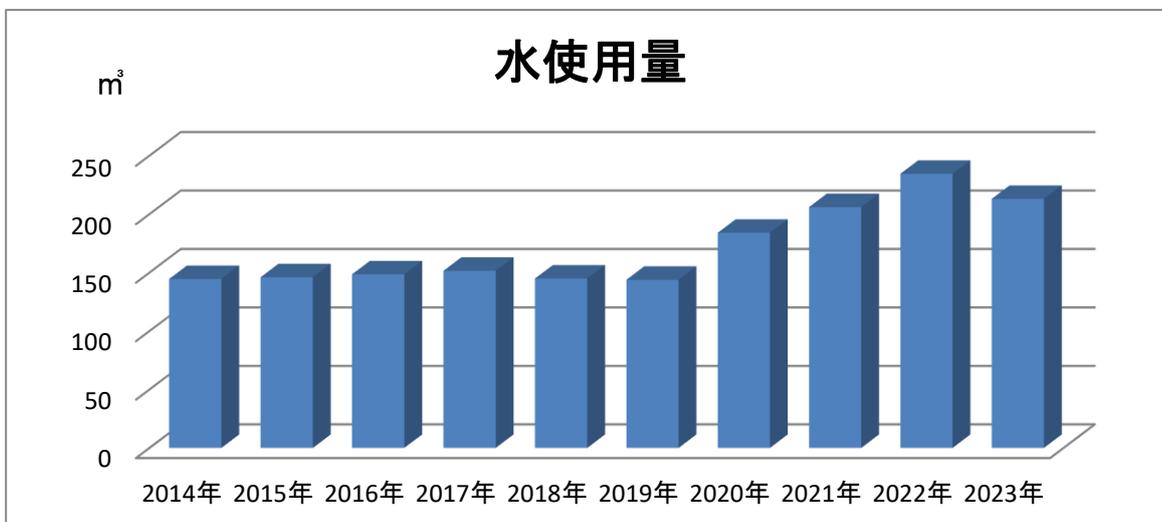
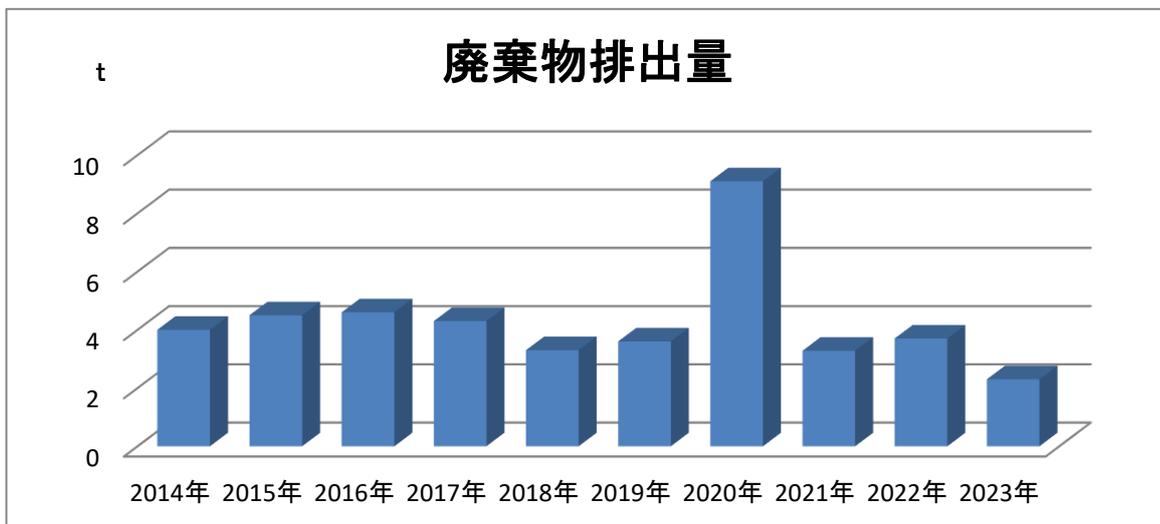
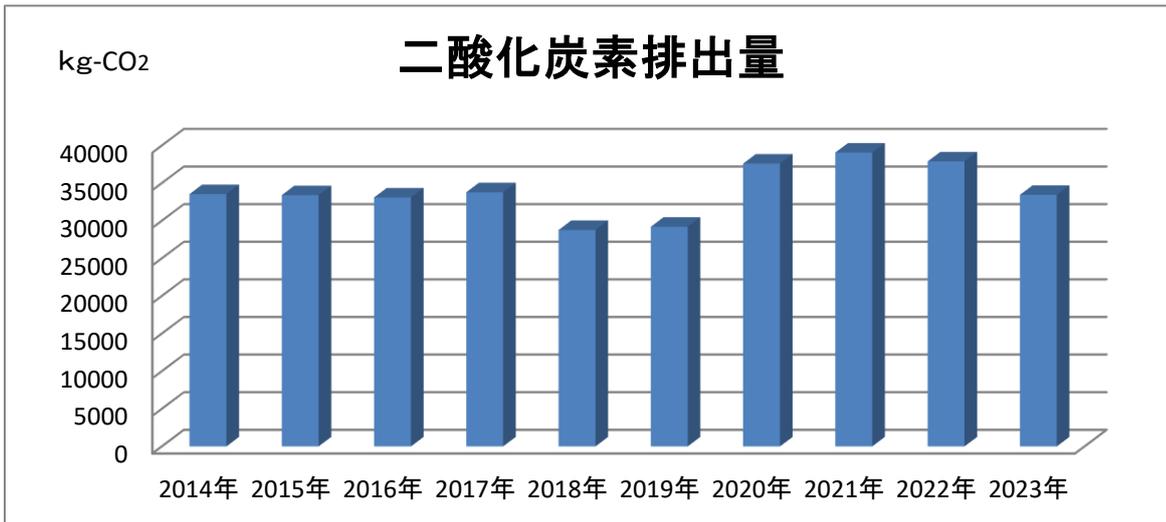


【その他啓蒙】

- ・松戸市温暖化対策「市民行動プラン」冊子回覧

8 環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

8.5 取組結果の推移



8 環境活動の取組結果とその評価、次年度の環境経営目標の取組内容

8.6 まとめ

	単位	基準年	2023年		評価	取組の評価	次年度の環境経営目標の取組内容
			(目標)	(実績)			
電力消費量の削減 (単位:kWh)	% 消費量	2022年 46140	-1.0% 45678.6	11.20% 51309	△	・エントランス、廊下は照明の間引きを行い、その他照明使用個所では、使用しない時は消灯するなど節電に努めた。 ・冬の寒波、夏の酷暑の影響もあり、冷暖房の使用率が上がり、電力消費量が増えたが、こまめな温度調節や啓蒙などを行い意識づけることが出来た。	・2024年度の環境目標に沿って、取組を継続していく。
ガソリン消費量の削減 (単位:L)	% 消費量	2022年 2,144.29	-1.0% 2122.8	-42.2% 1239.11	○	・現場への移動は、なるべく複数人で同乗するように心がけたことで、ガソリン消費量の大幅削減に繋がった。	・2024年度の環境目標に沿って、取組を継続していく。
軽油消費量の削減 (単位:L)	% 消費量	2022年 2,638.80	-1.0% 2612.412	-2.2% 2579.86	○	・現場への移動は、なるべく複数人で同乗するように心がけたことで、ガソリン消費量の大幅削減に繋がった。	・2024年度の環境目標に沿って、取組を継続していく。
灯油消費量の削減 (単位:L)	% 消費量	2022年 1374.8	-1.0% 1361.1	-11.05% 1,222.8	○	・社内作業量は増えているが、作業用コンロや暖房機器の使用方法について、1人1人が無駄のない使用を心掛けたことで、削減に繋がった。	・2024年度の環境目標に沿って、取組を継続していく。
液化石油ガスの削減 (単位:kg)	% 消費量	2022年 555.17	-1.0% 549.6282	-9.99% 499.7	○	・タイマーを使用し、使用時間の管理を継続して行ったことで、効力よく使用することで削減に繋がった。 ・啓蒙、ガス台清掃・点検、火力の調整などを行い、消費量削減に取り組んだ。	・2024年度の環境目標に沿って、取組を継続していく。
二酸化炭素排出量の削減 (単位:kg-CO2)	% 排出量	2022年 37881.3	目標値 33925.8	-11.70% 33,437.8	○	・啓蒙を行い、定期的にCO2削減を意識づけた。 ・エネルギー削減に向けて積極的に取り組んだ結果、目標を達成することが出来た。	・2024年度の環境目標に沿って、取組を継続していく。
分別及びリサイクルの推進 (単位:t)	% (t/年)	2022年 3.70	-1.0% 3.66	-60.2% 1.47	○	・紙類は、裏紙利用やリサイクル紙として廃棄を行った。 ・梱包資材を再利用した。	・2024年度の環境目標に沿って、取組を継続していく。
事業所利用水の節水 (m ³)	% (m ³ /年)	2022年 234.50	-1.0% 232.16	-9.16% 213.0	○	・啓蒙に努め、水をこまめに止める意識が向上した。 ・清掃洗剤の見直しにより、水の使用量削減に繋がった。	・2024年度の環境目標に沿って、取組を継続していく。
製品の省エネ化、小型化	-	開発 試行	清掃用洗剤見直しにより水使用量7%削減	未達成 達成率 57%	×	・後期は繁忙期となり省エネ化の取り組みが難しくなったが、前期は順調に削減への取り組みが出来た。	・繁忙期のため2024年度は取り組みを延期。
グリーン購入	%	各年 全体の80%	各年 全体の80%	全体の87%	○	・文房具やコピー用紙は努めてグリーン購入適合品を購入。	・2024年度の環境目標に沿って、取組を継続していく。

<達成状況の評価> 達成率/ 0%以下...○(達成) 1~15%未満...△(おおむね達成) 15%以上...×(未達成)

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

自ら遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反、訴訟はありません。

又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	適正処理
浄化槽法	定期点検	遵守
消防法	消防点検の実施	遵守
	屋内消火栓設備・建築関連	遵守
松戸市公害防止条例 騒音・振動規制法	旋盤、高速度切断機、天井走行クレーン、圧縮機	遵守
特定化学物質障害予防規則	金属アーク溶接	遵守
家電リサイクル法	冷蔵庫、エアコン	遵守
自動車リサイクル法	社有車	遵守
グリーン購入法	環境物品を自主的に購入	遵守
フロン排出抑制法	業務空調機	簡易点検
省エネ法	エネルギー使用の合理化 (パソコン、エアコン、照明器具)	遵守

10 代表者による全体評価と見直しの結果

承認	作成
飛田	永廣
作成日	2024/12/16
見直し対象期間	2023/9/1～2024/8/31
変更の必要性の有無・指示事項	
[環境経営方針]	
変更の必要性: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
2012年9月改訂と古いため、内容の見直し・検討を行う	
[目標・活動計画]	
変更の必要性: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
製品の省エネ化、小型化の取り組みの削減項目は、繁忙期のため2025年8月まで延期	
[実施体制]	
変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
[環境経営システム]	
変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
[総括]	
<p>◆前回の指示事項に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内環境の変動・変化が大きいため前年度実績を基準値とし運用した結果、社内環境に合った運用ができ全体的に目標達成ができた。 ・作業の増加や従業員の増員などがあったが、環境への意識を変わず保つことができ、目標を達成できるような取り組みの継続が行えた。 <p>◆今回の評価と次年度への指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年9月1日～2024年8月31日まで外部からの苦情・要望等の受け付けはなく、環境関連法規制の遵守も問題なく継続を果たし、適正な企業活動ができた。 ・前年度実績を基準値とする新たな目標値が設定されたことで、より現実的な数値を追える年度であったが、項目によって多少の差はあるものの全体的に無理なく目標値を達成できた。 ・前年度実績を基準値とし運用することについては、今後も社内環境にマッチしているか検証を行い、社内状況に応じて運用方法を検討していく。 ・環境に配慮した製品の開発については、繁忙期のため後期の取り組みが中断、次年度も延期となるが、延期中であっても日頃から環境に関する情報や開発に関連する情報収集に努める。 ・今後も作業の増加・人員増員等、エネルギー消費量の増加が考えられるため、目標達成出来るよう一人一人が意識して取り組みを行う。 	